

第3次 甲斐市総合計画

暮らし「かい」てき あった**甲斐**

令和7年度（2025）～令和16年度（2034）



はじめに

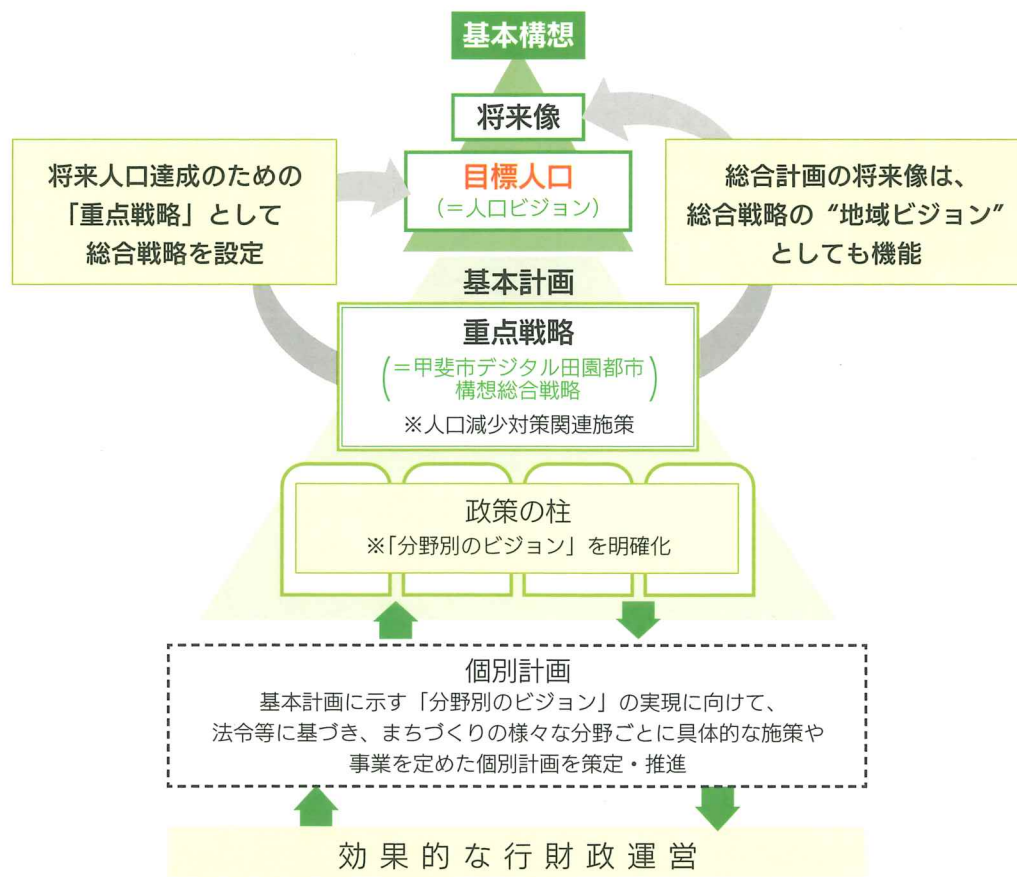
■計画策定の趣旨

本市では、平成28年3月に本市の最上位計画である「まちづくりの方針となる基本構想」を定めた「第2次甲斐市総合計画」を策定し、市の目指すべき将来像である「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向け、計画を推進してきました。

このような中、グローバル化のさらなる進展など新たな時代を迎える一方で、国内外での大規模地震や度重なる大雨などの自然災害、新型コロナウイルス感染症の拡大など、これまで私たちが経験したことのない災禍にも見舞われ、生活や暮らしだけでなく、企業活動や社会経済全体に大きな変化が生じています。

今回、第2次甲斐市総合計画が令和6年度をもって終了することに伴い、現在の時代背景など、住民の暮らしや地域の社会経済情勢に与える影響を的確に捉えつつ、住民の多様なニーズに対応するため、令和7年度からの将来におけるまちづくりの新たな指針として、第3次甲斐市総合計画を策定します。

■計画の構成と期間



基本構想（令和7年度～令和16年度）	
前期基本計画（令和7年度～令和11年度）	後期基本計画（令和12年度～令和16年度）
甲斐市デジタル田園都市構想総合戦略（令和7年度～令和11年度）	第2期甲斐市デジタル田園都市構想総合戦略（令和12年度～令和16年度）

基本構想

■将来像

第2次甲斐市総合計画の将来像を引き継ぎ、「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向けて取り組んでいきます。

緑と活力あふれる生活快適都市



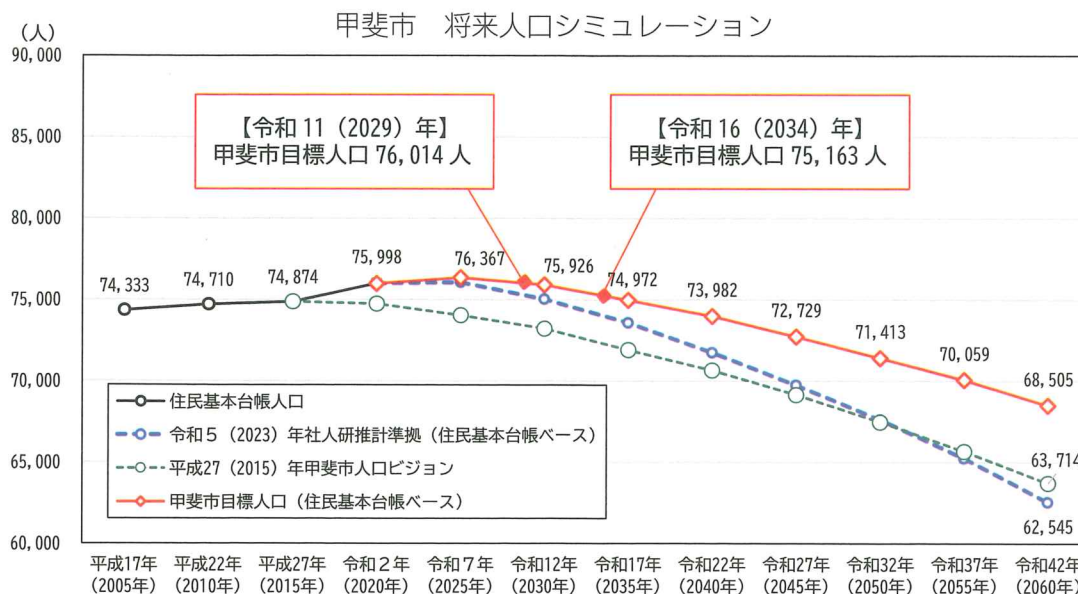
■目標人口

第3次甲斐市総合計画の目標人口の設定にあたっては、直近の国立社会保障・人口問題研究所（社人研）の推計、国勢調査結果や住民基本台帳等に基づき、「甲斐市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン」（以下、人口ビジョン）の見直しを行いました。新たに複数のシミュレーションを行った結果、以下の人口推計結果を目標人口として設定します（住民基本台帳をベースとする）。

第2次甲斐市総合計画では、令和7（2025）年に74,000人台を維持することを目標としていましたが、直近の人口推移を踏まえると、令和7（2025）年の人口は76,000人台を維持できる予測となります。

このような状況から、新たな推計では、第3次甲斐市総合計画の中間年度である令和11（2029）年度の目標人口は76,014人、計画終期の令和16（2034）年度の目標人口は75,163人とし、全国的な人口減少が進む中で、75,000人台の人口を維持することを目標とします。

さらに、中長期的な目標人口として、令和42（2060）年に約68,000人強の人口を維持することを目標とします。



政策・施策体系

■計画策定の趣旨

本市の将来像「緑と活力あふれる生活快適都市」の実現に向けた政策・施策体系は次のとおりです。なお、人口減少への対応と地方創生に重点的に取り組むことを目的とした「甲斐市デジタル田園都市構想総合戦略」については、「重点戦略」として前期基本計画に包含して位置付けることで、総合計画と整合性を保ちながら、より一層の取り組みの推進を図ることとします。

基本構想		基本計画
将来像	基本目標	重点戦略 (=甲斐市デジタル田園都市構想総合戦略)
緑と活力あふれる生活快適都市	1 まちづくりは人づくり 生涯にわたる学びのまち 【教育・文化】	重点戦略1 良質で安定したしごとをつくる 重点戦略2 甲斐市への新たな人の流れをつくる 重点戦略3 結婚・出産・子育てに関する希望をかなえる環境をつくる 重点戦略4 甲斐市の個性を生かした魅力あふれる地域をつくる
	2 健やかで心ふれあう安心に暮らせるまち 【福祉・健康】	
	3 美しい景観と快適で安全な都市機能を築くまち 【都市・建設・交通・防災】	
	4 自然と生活が調和した環境を築くまち 【環境】	
	5 交流と協働による未来を拓く活力のあふれるまち 【産業・行政】	

	基本計画	
基本目標	政 策	施 策
基本目標1	(1)心豊かにたくましく未来を生きる甲斐っ子づくり	①確かな学力の育成、②豊かな心の育成、③健やかな体の育成、④ふるさとに誇りや愛着を持ち、活躍できる人材の育成
	(2)未来への可能性を拓く学びとスポーツの推進	①生涯学習・文化活動の推進、②スポーツの推進、③図書館活動の推進
	(3)誰もが安心して学べる快適な教育環境づくり	①多様な学びに対応した教育の推進、②質の高い教育のための環境整備、③家庭・地域・学校の連携・協働の推進による地域教育力向上、④教育分野におけるDXの推進とデジタル社会を担う人材の育成
基本目標2	(1)地域共生社会の実現に向けた地域福祉の充実	①地域福祉の推進、②障がい者福祉の推進、③生活保障・自立支援の推進、④自殺防止対策の推進、⑤困難な問題を抱える女性のための支援の推進
	(2)切れ目のない子ども・子育て支援の充実と少子化対策の推進	①婚活・結婚の支援、②甲斐市版ネウボウ事業の拡充、③子育て家庭に向けた支援、④特別な支援を必要とする子どもたちへの支援の充実、⑤保育園・幼稚園等の充実、⑥幼児教育の推進
	(3)高齢者保健福祉の充実	①高齢者保健福祉の推進、②介護保険事業の充実、③地域包括支援センターの機能と体制の充実
	(4)健康づくり活動と医療体制の充実	①生活習慣の改善、生活習慣病の発症・重症化予防、②地域医療の充実、③保健事業の適正な運営（国民健康保険）
基本目標3	(1)緑豊かで良好な景観と持続可能な都市づくりの推進	①景観・都市づくりの推進、②コンパクトシティの形成、③適正な土地利用と拠点地域の整備、④緑化の推進
	(2)快適な住環境の整備	①公園の整備、②公営住宅の整備、③空き家の適正管理と利活用の推進、④上水道の経営・整備、⑤下水道の経営・整備
	(3)計画的な道路・交通環境の整備	①幹線道路の整備促進、②生活道路の整備、③歩行環境の整備、④持続可能な公共交通の提供
	(4)災害に強く安心安全なまちづくりの推進	①災害対策や防災・減災対策の推進、②防犯体制の充実、③交通安全対策の推進、④治山・治水対策の推進、⑤農林業施設の防災・減災の推進、⑥雨水対策の推進
基本目標4	(1)自然環境と生活環境の保全	①自然保護・自然環境の保全、②水環境の保全、③公害等の防止、④環境美化活動の推進、⑤環境保全意識の醸成
	(2)循環型社会の形成	①リサイクルの推進、②食品廃棄物の有効利用、③バイオマスの活用
	(3)脱炭素社会の推進	①脱炭素先行地域の実現、②再生可能エネルギーの促進、③省エネルギー対策の推進、④市民・事業者の活動促進、⑤気候変動に適応した対策の推進
基本目標5	(1)持続的な農林業の振興	①農林業の担い手確保、②農地利用の促進、③農林業基盤整備の推進、④都市農村交流の推進、⑤鳥獣被害対策の推進
	(2)特色ある地域産業の振興	①観光産業の振興、②創業・起業支援の充実、③中小企業・小規模企業への支援、④産学官連携の推進、⑤企業誘致の推進、⑥地域ブランド戦略の確立、⑦地域企業への就業促進
	(3)交流と定住促進による新たな活力づくり	①魅力情報の発信による移住定住の促進、②関係人口の創出・拡大、③全市のイベントの開催
	(4)住民参画・協働のまちづくりの推進	①広聴・広報の充実、②情報公開の充実、③市民参加及び協働の推進、④地域コミュニティ活動の促進、⑤男女共同参画及び地域共生社会の推進、⑥国際交流の推進と多文化共生社会の実現
	(5)地域情報化の推進	①市民の利便性の確保、②デジタル技術を活用したつながりの確保、③行政運営の効率化、④デジタル化の推進に向けた基盤整備
	(6)時代に対応した行政運営の推進	①窓口サービスの充実、②相談体制の充実と消費者保護の推進、③SDGsの普及促進、④庁舎機能の強靱化、⑤公民連携の推進、⑥近隣自治体との連携、⑦行政改革の推進、⑧持続可能な行財政運営、⑨議会運営の支援

重点戦略（甲斐市デジタル田園都市構想総合戦略）

■甲斐市デジタル田園都市構想総合戦略策定の趣旨

我が国の人口減少が将来にわたり続くことが予測されている中、国では「デジタル田園都市国家構想総合戦略」を策定し、デジタル技術の活用によって「全国どこでも誰もが便利で快適に暮らせる社会」を目指した取り組みを推進しています。

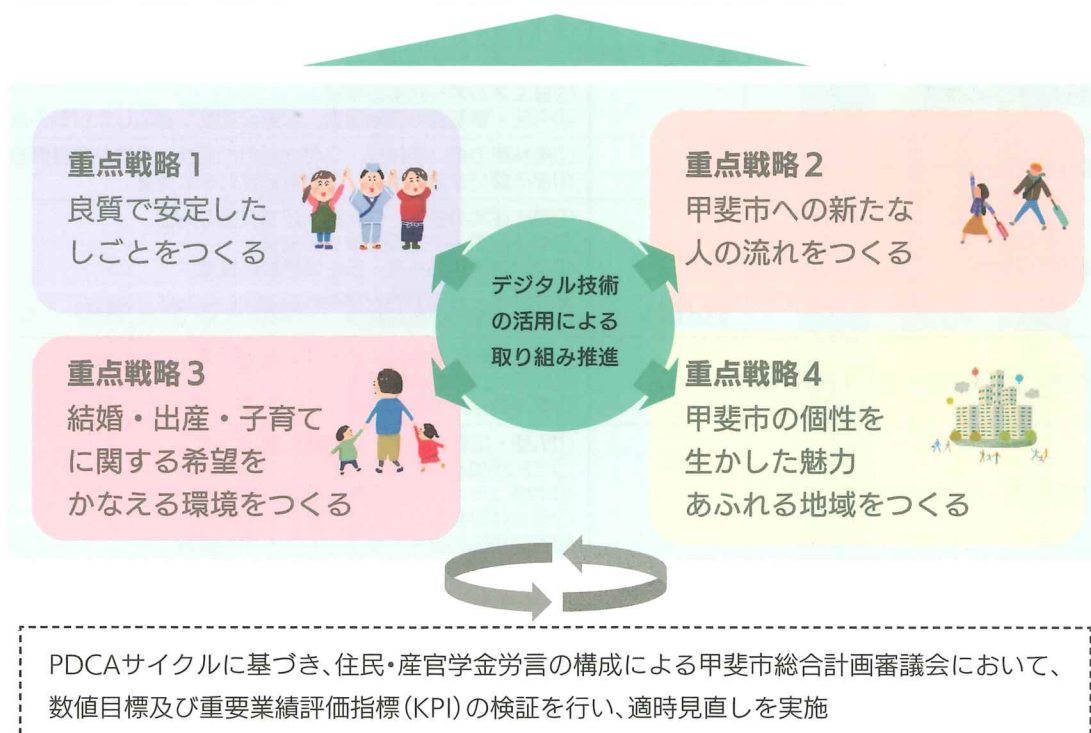
本市では、近年は予測した人口を上回るペースでの人口増が続いているものの、長期的な視点で見ると人口減少への転換が避けられない状況であることから、新たに「甲斐市デジタル田園都市構想総合戦略」を策定し、人口減少対策の取り組みの加速化・深化を図ります。

なお、総合戦略が本市の目指す将来像実現に向けたまちづくりを、地域創生の視点から推進するものであるという考えに基づき、基本構想で掲げる将来像「緑と活力あふれる生活快適都市」を地域ビジョンとして踏襲するものとします。

■戦略の方向性

数値目標（令和11年度）

重点戦略1	従業者数(事業者単位)	▶ 22,607人
重点戦略2	転入者数	▶ 3,172人
重点戦略3	合計特殊出生率	▶ 1.87
	甲斐市は子育てしやすいまちだと感じる市民の割合	▶ 78.4%
重点戦略4	暮らしやすいと感じる市民の割合	▶ 97.4%



重点戦略 1

良質で安定したしごとをつくる

- (1) 地域産業の振興と販路拡大
 - ◇農業者の経営安定に向けた支援の推進
 - ◇やはたいもの生産維持
 - ◇大規模農業経営を行う民間事業者の参入推進
 - ◇地域ブランドの確立
 - ◇特産品のPR・開発及び販路拡大支援
 - ◇小規模企業者への支援の推進
 - ◇地域おこし協力隊制度を活用した施策の推進
- (2) 企業誘致、創業・起業支援の推進
 - ◇企業誘致の推進
 - ◇創業支援の推進
- (3) 産業間・産学官連携の推進
 - ◇市内中小企業と学術研究機関やスタートアップ企業等とのマッチング

重点戦略 3

結婚・出産・子育てに関する希望を かなえる環境をつくる

- (1) 結婚・妊娠・出産・子育ての切れ目のない支援
 - ◇甲斐市版ネウボラ事業の推進
 - ◇不妊治療への助成
 - ◇若者の出会いの場の創出
- (2) 子育てしやすい環境づくり
 - ◇(仮称)篠原地区公園内子ども体験学習施設整備事業の推進
 - ◇保育園業務におけるICTの活用
 - ◇入所申請等の電子申請化の推進
- (3) 個に応じた指導の充実
 - ◇甲斐っ子応援教室の開催
 - ◇メタバースを活用した不登校児童生徒の学習機会確保

重点戦略 2

甲斐市への新たな人の流れをつくる

- (1) 三大都市圏からの人口流入の創出
 - ◇移住定住促進事業の推進
 - ◇三大都市圏からの定住促進
- (2) 若者に選ばれる地域づくり
 - ◇若年層の移住・定住促進
 - ◇地域おこし協力隊の定着支援
 - ◇結婚新生活の支援
- (3) 関係人口の創出・拡大
 - ◇クラインガルテンの活用
 - ◇ワイナリーを中心とする観光・交流産業の活性化
 - ◇赤坂ソフトパーク内起業地市有財産の有効活用
 - ◇シティプロモーションの推進
 - ◇ふるさと応援寄附金制度の活用
 - ◇地方創生応援税制(企業版ふるさと納税)の活用

重点戦略 4

甲斐市の個性を生かした 魅力あふれる地域をつくる

- (1) 地域資源を生かした個性的な地域づくり
 - ◇バイオマス資源の利用による循環型社会の推進
 - ◇脱炭素先行地域の実現
 - ◇山梨県緑化センター跡地活用事業「(仮称)篠原地区公園“次世代へつなぐ創造の森”」の推進
 - ◇市道整備事業の推進
 - ◇全ての人が移動可能な環境の整備
- (2) 地域コミュニティの維持・強化
 - ◇ボランティア人材の育成
 - ◇ラジオ体操普及による健康なまちづくりの推進
 - ◇地域コミュニティ活動活性化のためのデジタル化の促進
- (3) 地域共生社会の形成
 - ◇地域での支え合い体制づくりの推進
 - ◇共生社会推進のための支援体制の整備
- (4) 災害に強いまちづくりの推進
 - ◇災害時におけるドローンの利活用
 - ◇防災DXの推進
- (5) 自治体DXの推進
 - ◇デジタル技術の活用による市民の利便性向上
 - ◇効率的・効果的な庁内業務の推進



甲斐市

第3次甲斐市総合計画【概要版】 令和7年3月発行

■発行：甲斐市

〒400-0192 山梨県甲斐市篠原2610番地

TEL：055-278-1678 ウェブサイト：<https://www.city.kai.yamanashi.jp/>

■編集：総合戦略部 経営戦略課 政策戦略係



※総合計画に関する詳細な情報（本編）は、甲斐市ウェブサイトからご覧いただけるほか、市立図書館で閲覧できます。